医療法人 博愛会 哲翁病院　広報誌「はくあい」

博愛

第 13 号

撮影者：正木新吾

～病院理念～

博愛の精神をもって医療に携わり、地域住民の健康な生活の維持、向上に尽くします。

1 ページ：院長就任あいさつ
2 ページ：哲翁病院 百年史
3 ページ：部署紹介～外来～
4 ページ：年度初め式・避難訓練
5 ページ：診療時間の変更・笹栗医師の診察・求人案内
6 ページ：当院自慢の一品～魚の漁火焼き～

■ 院長就任挨拶

“いつでも夢を”これは半世紀以上前の 1962 年（昭和 37 年)、橋幸夫さんと吉永小百合さんによるデュエットの大ヒット歌謡曲です。男女それぞれが辛い心情を語り、バックコーラスがそっと、「お持ちなさいよ、いつでも夢を」とささやきかける。当時私は高校生でした。
世界では、ロシアによる国際社会の法と秩序を無視したウクライナへの武力侵攻、絶対許されない一般市民への非人道的行為、虐殺、突然日常生活が一変し、住む家を失った難民の方々の国外移動等、凄惨な現実が連日報道されております。また、現在小康状態の新型コロナウイルス感染症も、第 7 波の兆候が各地で現れ予断が出来なくなりました。
　そのような内外共に過酷な状況にあって、何が夢の話かとお叱りを受けるかもしれません。夢という言葉には、夢見る乙女、夢物語というように非現実的という観念が付きまといます。夢の実現は決して容易ではありません。今人々の切なる願いは、ロシアによる軍事行動の即時停止、新型コロナウイルス感染症の一刻も早い終息です。そのためには、全世界の人々が、人としての価値観を共有し、立場を超えて問題解決に力を合わせなければなりません。
　職員の皆様もそれぞれ夢をお持ちでしょう。自分が理想とする内容の仕事がしたい、給料や賞与が上がり多様化した生活を楽しみたい等々。病院の夢は、経営基盤を盤石にし、病院理念であります「博愛の精神を持って医療に携わり、地域住民の健康な生活の維持、向上に尽くします」を追い求め続けることです。皆様の夢の実現のために病院の夢の実現を図る。収束するベクトルは同じ方向に向かいます。病院の夢、言い換えれば皆様の夢の実現のため病院は、3 年に一度中期計画を、更に毎年病院目標を立て行動規範を定めます。一方職員の皆様には、個々の裁量で自己目標設定をお願いしております。それぞれ独自の目標が立てば、集まると大きなエネルギーとなり夢の実現が近づきます。昨年度は、病棟看護補助職 4 名が自発的に、自分の夢をかなえるべく国家資格である介護福祉士取得を志し、全員国家試験合格の朗報が届きました。勉強は相当きつかったそうですが、このような流れが他の職種、病院全体へと広がることを期待します。
冒頭の橋幸夫さんは今年の春、78 歳にして大学（京都芸術大学）で学ぶという長年の夢を実現されました。最後になりましたが、4 月から再び病院長として、理事長兼任で病院管理に携わることになりました。皆様の夢、病院の夢を大切にし、その実現を目指した病院経営を行います。皆様の御協力を心からお願い申し上げます。

医療法人博愛会哲翁病院
院長・理事長　哲翁正博

■ 哲翁病院百年史 ～地域と先達に支えられ～

当院は今年で創立 109 年となりました。本誌では、創立 100 周年を記念して発行された「哲翁病院百年史 ～地域と先達に支えられ～」の内容を連載でご紹介しています。今回はその第 6 回となります。

※これまでの内容は、当院ホームページの「広報誌 博愛」のバナーをクリックしていただき、vol.8~12 をクリックしていただくと、ご覧いただけます。

【診療体制の充実を目指して ～平成 7 年から平成 21 年の動向～】

平成 7 年当時合併前の南島原市は、世帯数 17,036 戸、人口 58,898 人、65 歳以上が占める割合は 22.5%であった。有床診療所、無床診療所は比較的多い地域であるが、一般病床を有する病院は深江町の泉川病院のみであり、近隣の基幹病院は最も近くて旧国立小浜病院であった。従って当院の創立期、発展期と同様に島原半島南部地域の医療を担う中核病院としての役割に変わりはない。この地域事業に鑑み、病院理念に、“出生から老年にいたるまで住民の健康な生活の維持、向上に尽くす。地域医療体制の中核として他の医療機関と連携し、患者にとって最良の医療を捧げる”を掲げ病院づくりに取り込んだ。具体的には一般内科・総合診療の充実、二次救急医療機関として救急車受け入れ体制の整備、基幹病院と同等の医療が地元で受けられる患者の利便性を考慮した専門外来の開設、疾病の早期診断を含む予防医学活動を重点課題に据えた。これらに応えるためには多方面にわたる人材の確保が前提条件となるが、地域性故に医師のみならず、看護師、薬剤師、レントゲン技師等の医療スタッフ獲得も常に困難を極めた。それでも平成 13 年 4 月、福岡大学筑紫病院から消化器専門医の派遣も始まり、上部・下部消化管内視鏡検査のほか全大腸の内視鏡検査も可能となり、胃、食道、大腸疾患の高度な診断機能を当院にもたらした。現在週 3 日、3 名の医師が検査と当直にあたり、夜間の救急車の受け入れも円滑になった。

一方、長崎大学第一内科から平成 9 年 6 月、神経班グループ医師の派遣が決まり、神経内科専門外来が日勤、当直を兼ね週 1 日で始まり、平成 12 年からは月 1 日の神経内科専門医による専門外来として続いている。上級医者の診察により神経に関する特殊な検査以外は遠隔の大学や基幹病院へ足を運ぶ必要がなくなった。当地域は糖尿病罹病患者も多く、その専門外来も懸案であったが、平成 13 年 1 月、長崎大学第一内科内分泌・代謝班から医師派遣が開始され、神経内科疾患、糖尿病、甲状腺疾患は島原半島南部の診療拠点となり紹介患者も増加傾向にある。そのほか平成 17 年 6 月から高血圧外来、平成 21 年 6 月から循環器外来、平成 24 年 9 月から整形外科外来を開設し、地域の要望に応えている。救急医療は平成 4 年すでに輪番制病院に指定され、救急車を受け入れていたが、放射線技師が平成 20 年から常勤 2 人、平成 23 年から 3 人となり、常時夜間、休日対応が可能となり、検査機器も平成 11 年ヘリカル CT、平成 19 年多列 CT を導入し一般診療のみならず救急診療の制度も向上した。画像診断の精度を高める目的で平成 16 年から遠隔画像診断システムの稼働を開始し、現在 5 名の放射線専門医によって運用されている。救急担当医師については長崎大学病院、福岡大学の協力により平日の当直、日祭日の日勤、当直体制が整った。過去 5 年間の救急車平均年間受け入れ件数は 181 件となり、救急告知は行っていないが、島原半島南部の救急医療にいくらか貢献出来ていると考える。

惇院長の死去により不在となった外科診療は、平成 6 年 4 月から長崎大学第二外科から医師派遣が実現し、週 1 日、日勤、当直として再開された。診療内容は一般外科、腰痛、関節痛の緩和治療、消化管検査、乳房触診産科手術の麻酔、助手等が中心であった。平成 13 年 4 月から山本正幸医師が常勤となり、悪性腫瘍の化学療法が当地域でも可能となった。平成 15 年 4 月から 2 年間は西谷正嘉医師と 2 人体制になり、鼠径ヘルニアなど小規模外科手術も行われた。平成 21 年 4 月から常岡伯紹医師が在籍し、長崎大学時代肝、胆、膵臓グループに属していた専門性を生かし、総胆管結石の内視鏡手術を積極的に行い、紹介患者も増えた。

産婦人科は当院の伝統的な主要診療科であり当院産科の特徴はほとんどが里帰り分娩である。全国的に少子化が進み、特に島原半島は出生数が減少しており、当院も趨勢を反映し分娩数は著名に減少している。加えて晩婚化により高齢、ハイリスク妊婦が増加しており、周産期母子医療センター施設へ紹介せざるを得ないのも分娩数減少の一因であろう。出生数の減少は当地域のみならず国の運命がかかっており、現病院が出来た 20 年程前から政府も対策に乗り出しているが、その効果は未だ実感できない。

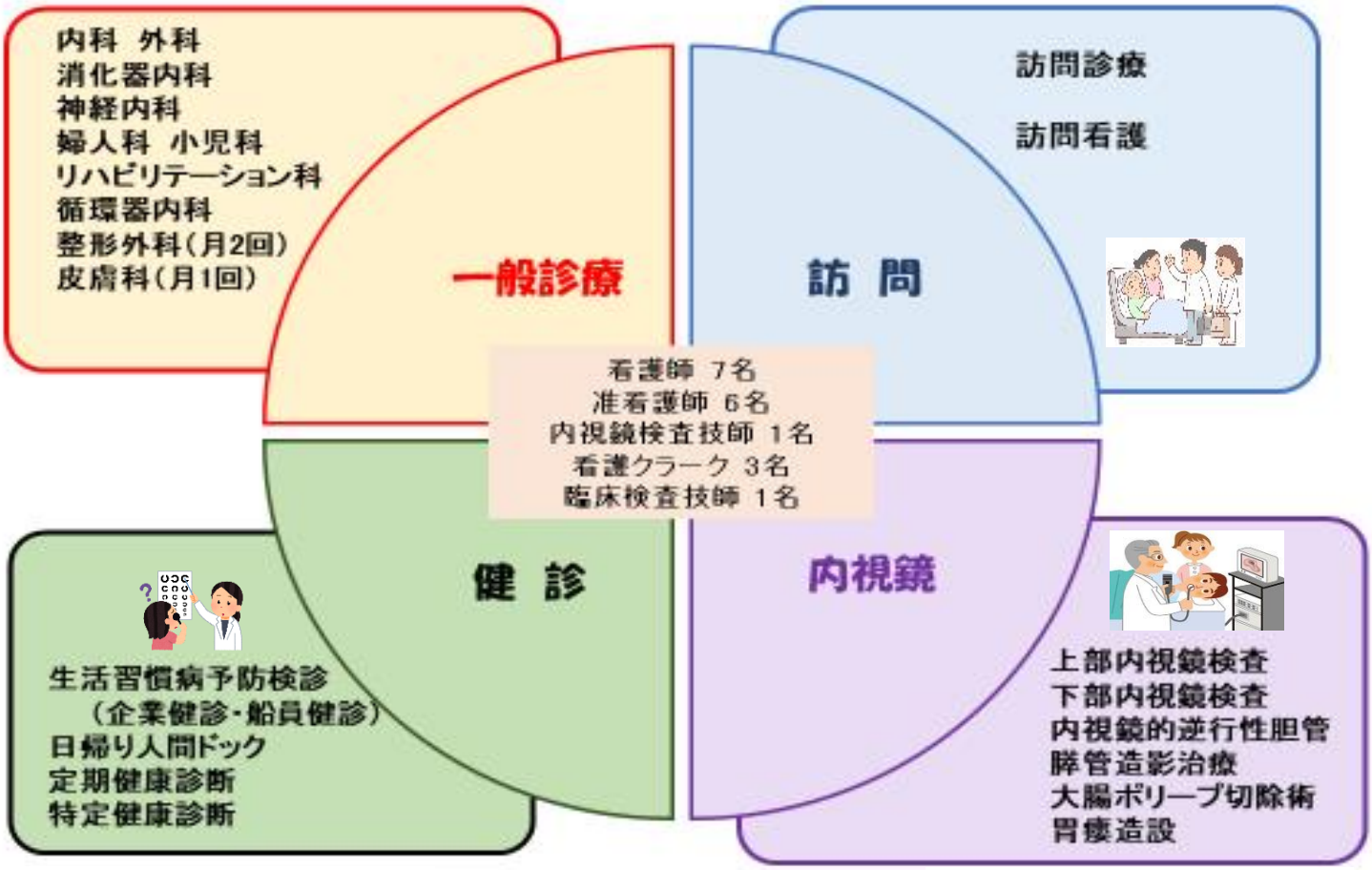
婦人科手術は子宮筋腫、良性卵巣腫瘍、子宮脱等久留米大学から教授・助教授クラスの人材が応援に駆けつけ高い水準の医療を提供したが、近年は近隣の基幹病院への手術症例紹介が多くなり、平成 7 年以降は帝王切開を含め年間平均手術例数は 16 例前後である。

次号へ続く

外　来　紹　介

当院の外来では、内科・外科・産婦人科の診療を中心に行っています。
その中で、外来看護師として、短い時間で患者さんの状況や病状、ニーズを把握し、安全にそして安心して処置、検査、治療を受けられるように支援することを心掛けています。

外来部門における業務内容



＜訪問＞
訪問利用者さんやご家族が安心して在宅生活が送れるよう支援しています。

＜健診＞
地域住民や職場の方々の健康の維持・増進に努めています。

＜内視鏡＞
内視鏡検査が安心して受けられるよう援助しています。

■ 年度初め式

令和４年４月１日に、年度初め式を行いました。年度初め式では、新たに理事長兼院長に就任した哲翁正博より訓示がありました。「当院は、地域住民の皆様に対して、良質な医療を提供していくための３年毎の中期計画と年度目標を立案し、様々な視点から課題を明確にし、職員一丸となってその課題達成に取り組んでいる。現在の具体的な課題としては、人材育成、デジタル化のさらなる推進、様々な感染症へ対応するための体制づくり、職場環境の改善が必要であると考えている。当院は、これらの課題に真摯に取り組み、良質な医療を提供するべく、邁進していく所存である。」
また新たに作業療法士、理学療法士、および管理栄養士の計３名が当院に入職された。
新しい仲間とともに、「博愛の精神をもって医療に携わり、地域住民の健全な生活の維持、向上につくします。」の病院理念のもと、進んで行きたいので出席者全員気持ちを新たにし、新年度に向かう決意をしました。今年度もよろしくお願いいたします。」

■ 避難訓練

令和４年３月 18 日に、避難訓練を行いました。今回は、当院に隣接する特別養護老人ホーム玉成園の２階からの出火を想定した訓練でした。当院スタッフは、２階連絡通路を使用し、玉成園スタッフの方々と協力して、入居者の皆様を病院内に避難誘導しました。全体的にはスムーズな避難誘導ができましたが、２階連絡通路付近は、通路の幅にあまりゆとりがないため、人が集まり過ぎると逆に避難誘導の効率が悪くなることがわかりました。今回分かった反省点をスタッフ間で共有し、改善・実践していきたいと思います。

■ 診療時間の変更

現在、診療時間が下記のとおり変更となり、水曜日および土曜日の午後におきましても一般外来診療を行っております。担当医につきましては、ホームページまたは院内の掲示板によりご確認ください。

【午前】
◎　月曜日・火曜日・水曜日・木曜日・金曜日・土曜日　9：00～12：30
【午後】
◎　月曜日・水曜日　14：00～17：30
◎　火曜日・木曜日・金曜日・土曜日　15：00～17：30

※　婦人科の午後診療は、第１土曜日及び第３土曜日となります。

■ 笹栗医師の診察

従来、第１、第３土曜日午後診療の笹栗医師による高血圧外来は、令和４年４月１日より一般外来を含め下記のとおり変更となります。

毎週
月曜日（午前）　11：00～12：30
（午後）　14：00～17：30
火曜日（午前）　8：30～12：30
（午後）　15：00～17：30
水曜日（午前）　8：30～12：30
（午後）　14：00～16：30

■ 求人案内

当院のスタッフとして一緒に働きませんか。現在、哲翁病院では下記の職種を募集しています。

◎ 看護師　◎ 准看護師　◎ 看護補助者
◎ 調理員　◎ 社会福祉士　◎ 薬剤師

詳細は二次元バーコードより当院のホームページで確認、または下記電話番号まで直接お問い合わせいただいても結構です。
ご応募お待ちしております。

※　こちらの２次元バーコードをスマートフォン等でスキャンしますと、当院求人ページにアクセスすることができます。

【お問い合せ先】
哲翁病院　総務課
0957-86-3226

当院自慢の一品　簡単ヘルシーメニューで健やかに

魚の漁火焼き

＜材料＞２人分

	白身魚６０g 切り身	２切れ
	むきえび	20ｇ
	人参	20ｇ
	玉ねぎ	20ｇ
	塩わかめ	10ｇ
	油	小さじ１
A	しょうゆ	小さじ1
A	塩	少々
A	酒	小さじ１
A	だし汁	小さじ２
	付け合せブロッコリー	適宜

＜レシピのポイント＞
白身魚に具材を載せてアルミホイルで包み焼きにすることで、具材の旨みや栄養素も逃さず美味しくいただけます。彩も良く、おもてなしの１品としても喜ばれます。
きのこ類を加えたり、お好みで最後にレモン汁をかけても美味しいです。ぜひお試しください！

＜作り方＞
①塩わかめを塩抜きし細かに切る。
②むきえびは背ワタを取る。
③玉ねぎはスライスする。
④人参は千切りにしてゆでる。
⑤ブロッコリーは小房に切り茹でる。
⑥Ａの調味料を合せる。
⑦アルミホイルに油をしき魚を置き①～④の具材を載せて⑥の調味料をかけてアルミホイルで包み、オーブンで１５分～２０分焼く。
⑧出来上がりにブロッコリーを添えて出来上がり。

＜1 人分の栄養価＞

エネルギー	131kcal
タンパク質	15.5g
脂質	5.7ｇ
食物繊維	1.3ｇ
食塩相当量	0.9g

哲翁病院外来担当医一覧表

2022. 4. 1～

	診療科	月	火	水	木	金	土
午前	内科・消化器内科	哲翁　和博	哲翁　和博	哲翁　和博	哲翁　和博	哲翁　和博	哲翁　和博
	神経内科	哲翁　直子	哲翁　直子	哲翁　直子	哲翁　直子	哲翁　直子	
	外科・内科	山本　正幸 （ 11時まで） 副島 真一郎 （ 12時より/月2回）	山本　正幸 副島 真一郎	山本　正幸 （ 11時まで） 副島 真一郎	山本　正幸 副島 真一郎	山本　正幸 副島 真一郎	副島 真一郎
	内科	笹栗　俊之 （ 11時～）	笹栗　俊之	笹栗　俊之			
	産科・婦人科	哲翁　正博	哲翁　正博	哲翁　正博	哲翁　正博	哲翁　正博	哲翁　正博
	消化器内科	長崎大学医師	福岡大学医師	山崎　一朋	福岡大学医師	福岡大学医師	
				長崎大学医師 （ 神経内科） （ 第2 水曜）		長崎大学医師 （ 内分泌・ 代謝内科）	諫早総合医師 （ 循環器内科　1回/月） （ 皮膚科　1回/月）
	糖尿病内科						哲翁　たまき（ 1回/月）
午後	内科・消化器内科	哲翁　和博	哲翁　和博		哲翁　和博	哲翁　和博	哲翁和博、副島真一郎、深堀愛子の交代制
	外科・内科	副島 真一郎	山本　正幸 副島 真一郎		山本　正幸 副島 真一郎	山本　正幸 副島 真一郎	
	産科・婦人科	哲翁　正博	哲翁　正博		哲翁　正博	哲翁　正博	第1及び第3週 市川(哲翁)晶/哲翁正博
	消化器内科	長崎大学医師			福岡大学医師	福岡大学医師	
							長崎大学医師 （ 神経内科） （ 第4 土曜）
	内科	笹栗　俊之	笹栗　俊之	笹栗　俊之		長崎大学医師	
	整形外科						長崎大学医師 （ 2 回/月）
訪問		哲翁　直子	哲翁　直子		哲翁　直子	哲翁　直子	

午前　　9: 00～12: 30　（ 受付　11: 30まで）
午後　　14: 00～17: 30　（ 月・水）　/　15: 00～17: 30　（ 火・木・金・土）　（ 受付　17: 00まで）

※日曜日と祝日は休診です。
※学会等の諸都合で変更になる場合があります。
※当院は予約制になっています。（ 産科・婦人科は除く）
※2016年6月から諸般の事情により産科・分娩取り扱いを休止しております。
　なお、婦人科外来、婦人科健診につきましては今まで通り行っております。

※こちらの2次元バーコードをスマートフォン等でスキャンしますと、当院ホームページにアクセスすることができます

医療法人 博愛会 哲翁病院
住所：南島原市口之津町甲１１８１番地
TEL：０９５７－８６－３２２６　／　FAX：０９５７－８６－３２２７

発行日：令和4年　5月　2日　哲翁病院　広報委員会